

第 68 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 21 年 2 月 15 日 (日) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 小島 隆雄 中島 和晃 森 禎子
欠席委員の氏名 久保田 隆治 奥田 友彌 島田 貴司
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸
4. 議題
 1. 番組編成に関して
 2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容
議 長：須藤 一郎
出欠席者の確認をして会議に入った。
次に本日の審議事項の発議を提案。
会社側委員： 年末から年始にかけて放送された特別番組に関してリスナーには好評であった
ので年末年始に係らず節目に実施できないかとの提案があった。
委 員： 情報通信月間とか夏の花火大会とか鎌倉のイベントに参加しての特別番組は可能
な限り実施すべきだと思う。
委 員： 大掛かりな番組内容としなければ現行枠の中でも随時可能かもしれない。
会社側委員： 現行の生放送枠の中で取り込めるような内容であれば現状でも実施しているので
特別枠とはしてないが必要に応じて特別枠の編成は柔軟に対応していきたい。
スタッフのローテーションなどを含め前向きに展開したい。
委 員： 防災特番などをも含めて特別枠の拡大にも努力していただきたい。
会社側委員： 防災特番に関しては神奈川 FM ネットワークの調印式も無事行われ今後の活動にも
期待していただきたい。
委 員： 1 月 17 日の防災特番では主に収録されたメッセージの放送に限定されていまし
たが生の同時中継もすべきであったと思う。
会社側委員： 防災特番実施後の反省点として提起された問題でもありますが今後の実施に対し
ては様々な状況を想定しての特番にしていきたいと考えている。
委 員： JCN の緊急地震速報に関してその後の取り組みはどうなっているか。
会社側委員： 現時点では前回の番組審議会で報告されたないように変更は無く 4 月から実施さ
れる予定になっている。
委 員： 前回も指摘したように信頼性などをも含めて慎重に取り扱うべきだと思う。
会社側委員： JCN 及び市の防災関係部署とも引き続き協議してまいります。
本日はありがとうございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し
以 上